

Quest™



KACE®システム導入アプリケーション5.0

リリースノート



目次

Quest® KACE®システム展開アプライアンス5.0リリースノート.....	3
KACEシステム展開アプライアンス5.0について.....	3
新機能と強化点.....	3
廃止される機能.....	4
解決済みの問題.....	4
既知の問題.....	6
システム要件.....	10
サポート終了に関するお知らせ.....	10
「制限付きサポート」と「サポート終了」の違いについて.....	11
製品ライセンス.....	12
インストール手順.....	12
更新の準備.....	12
通知更新を使用したアプライアンスの更新.....	12
手動によるアップデートファイルのアップロードと適用.....	13
既存の32ビットRSAを64ビットに移行.....	13
その他のリソース.....	14
グローバル化.....	14
当社について.....	14
名前を超える存在.....	14
当社のブランドとビジョンと、ともに.....	15
Questへのお問い合わせ.....	15
テクニカルサポートのリソース.....	15
法的情報.....	15

Quest® KACE®システム展開アプライアンス5.0リリースノート

このリリースノート文書は、Quest KACEシステム展開アプライアンス (SDA) バージョン5.0 (5.0.222) リリースに関する情報を提供します。

KACEシステム展開アプライアンス5.0について

KACEシステム展開アプライアンス (SDA) は、イメージのキャプチャと展開を行うためのネットワーク中心のソリューションを提供します。KACE SDAはシームレスなクロスプラットフォームのイメージ処理ソリューションを提供するので、ユーザーは1台の管理者コンソールからMicrosoft® Windows®プラットフォームおよびApple® OS X®プラットフォームをプロビジョニングできます。また、ユーザーは1台のデバイスまたは同時に複数のデバイスに、設定ファイル、ユーザープロファイル、およびアプリケーションをイメージとして展開できます。

KACE SDAは、同種および異種の両方のハードウェア環境における展開を自動化するのに必要なツールを提供し、マルチキャスト機能とタスクエンジン機能により、大規模なイメージ展開を高い信頼性で実現できます。ビルトインのドライバフィードにより、デルのドライバモデルが自動的にダウンロードされ、パッケージ管理機能を使用することにより、サードパーティ製のドライバパッケージをアップロードすることもできます。また、KACE SDAをKACEシステム管理アプライアンス (SMA) と統合することでKACE SMAインベントリのイメージを作成することもできます。KACE SDAは、仮想アプライアンスとして使用できます。

KACE SDA 5.0は製品のメジャーリリースであり、多数の新機能、改善点、問題解決が含まれています。

新機能と強化点

次の新しい機能と拡張機能がこのリリースに組み込まれています。

新機能と強化点

機能	問題 ID
Powershellタスクを実行する機能を追加し、Windows Media Managerのオプションを追加しました。	ESMEA-3042 ESMEA-654
RSAでキャプチャしたイメージをKACE SDAサーバにエクスポートする機能を追加しました。	ESMEA-2987
テクニカルサポートとのチャット、サポートKB記事やヘルプコンテンツ (『管理者ガイド』) の検索、サポートチケットのオープン、バージョン情報 ダイアログボックスの表示のためのリンクを含むフライアウトヘルプメニューの実装。	ESMEA-2924 ESMEA-2923
netdiagコマンドリストから管理者パスワードをリセットする機能を追加しました。	ESMEA-2789

機能	問題 ID
<p>i 注: 管理者パスワードをリセットするには、ライセンスキーの末尾16文字 (ダッシュ「-」その他の特殊文字を含む) が必要です。</p>	
<p>ベストプラクティスKB文書をKACE SDAフライアウトヘルプメニューと『管理者ガイド』に組み込みました。</p>	ESMEA-2608
<p>QuestライセンスでKACE SDAを登録できるようになりました。</p> <p>i 注: Questライセンスキーは、バージョン5.0以降でのみ動作します。メンテナンスが最新の場合、KACEライセンスキーでSDAバージョン5.0を登録できるようになりました。</p>	ESMEA-1483
<p>既存のスクリプト形式インストールのためのソースメディアを変更する機能を追加しました。</p>	ESMEA-768
<p>WIMイメージ内でファイルとフォルダを編集 (追加、更新、削除、ダウンロード) する機能を追加しました。</p>	ESMEA-545
<p>管理対象インストールをKACEシステム管理アプライアンス (SMA) からKACE SDAへ、ポストインストールタスクとしてインポートする機能を追加しました。</p> <p>i 注: この機能を使用するには、KACE SMAバージョン7.2以降が必要です。</p>	ESMEA-535

このリリースでの新しい機能の詳細を確認するには、サポートサイトで利用できるビデオチュートリアルをご覧ください。 <https://support.quest.com/ja-jp/kace-systems-deployment-appliance/kb?k=what%27s%20new>.

廃止される機能

次に示しているのは、KACE SDAではサポートされなくなった機能のリストです。

廃止される機能

機能	問題 ID
<p>前のRSAはサポートされなくなり、バージョン4.0を実行しているKACE SDAでは、古いバージョンの32ビットRSAにデータを同期することはできません。既存の32ビットRSAから新しい64ビットバージョンにデータを移行するためのツールおよびプロセスを利用いただけます。詳細については、次を参照してください。 既存の32ビットRSAを64ビットに移行</p>	RSA v3.7
<p>Windows® User State Migrationツール (USMT) 10を使用した、USMT 4ツールでスキャンされたユーザープロファイルの導入はサポートされません。</p> <p>i 注: USMT 5のツールは、Windows Media Manager を使用してUSMT10としてアップロードされます。</p>	USMT 4

解決済みの問題

以下の問題は、このリリースで解決されています。

解決済みの問題

解決済みの問題	問題 ID
setup_post_install_tasks.vbsスクリプトが原因で、Windowsバージョン7～10ではsetupcomplete.cmdファイルの記述が不正確になります。	K2-6737
RSAイメージのキャプチャに失敗すると、KACE SDAでスクリプトが失敗していました。	K2-6736
アプリケーションタスクのコマンドライン全体が小文字で書かれていました。	K2-6708
一部の環境で、FQDN (完全修飾ドメイン名) を使用してリンクすると、RSAイメージのキャプチャに失敗しました。	K2-6688
Sambaのバージョンを4.3.11_2Qにアップデートし、CVE-2017-7494 Sambaの脆弱性を解決しました。	K2-6687
Late 2016 MacBook ProシステムがNetBootを実行できるように、最大TFTP (トリビアルファイル転送プロトコル) のブロックサイズを変更しました。	K2-6684
K-Imageを編集し、変更を確定するか元に戻した時点で、K-Imageに付随するプレインストールタスクとポストインストールタスクが保持されていませんでした。	K2-6683
システムイメージの二重化を、同期ではなく非同期動作に変更し、UI (ユーザーインターフェイス) を解放します。	K2-6659
WIMマニフェストファイルがマニフェストファイル自体をリスティングしたため、USB導入に失敗していました。	K2-6590
ハードドライブの名前にスペースが含まれるか、またはCore Storageが有効の場合に、Macイメージがキャプチャできないことがありました。詳細については、「 https://support.quest.com/ja-jp/kace-systems-deployment-appliance/kb/230345 」を参照してください。	K2-6580
SSL証明書がSHA-2 (Secure Hash Algorithm 2) を使用していない場合にユーザーに表示する通知メッセージを追加しました。	K2-6410
ヘッダーセクションのステータスメッセージを下方へ移動し、全文を表示できるスペースを確保しました。	K2-6124
K-Image内のファイルを編集した後に、保存 をクリックすると、コミット および 元に戻す のオプションが消えて、編集したファイルがイメージファイルブラウザ内に表示されなくなっていました。 対策：イメージを複製して、コミット および 元に戻す のオプションを表示させ、オリジナルのファイルがイメージファイルブラウザ内に表示されるようにしてください。	K2-5740
英語以外のドキュメントでは、ホーム および 印刷 アイコンが表示されませんでした。	K2-5588
ヨーロッパ言語では、RSAを設定してリンクすると管理者コンソールのヘッダーレイアウト上の問題が起きることが報告されていました。	K2-5495

非ASCII BATファイルを持つZIPファイルを含む中間レベルまたはポストインストールタスクの、アプリケーションタイプの展開に失敗していました。

K2-5364

ZIPファイルを作成する場合に、1つ、または複数のファイルのファイル名にUnicode文字が使用されているときは、ZIPファイルを作成するために使用するツールがUnicode文字をサポートする必要があります。ZIPファイルをアップロードした後に、ファイル名にUnicode文字を含む1つ、または複数のタスクが見つからない場合は、以下のディレクトリの内容を確認します。

- \\<KACE_SDA_hostname>\peinst\applications\<task_ID>\contents\
- \\<KACE_SDA_hostname>\peinst\preinstall\<task_ID>\contents

どちらのディレクトリにもファイルが見つからない場合、別のツールを使用してZIPファイルを作成し、プロセスを繰り返します。

既知の問題

次に示しているのは問題の一覧です。これには、サードパーティ製品に属する問題、リリース時点で存在が認識されている問題が含まれます。

一般的な既知の問題

既知の問題

問題 ID

PCIe (Peripheral Component Interconnect Express) バスを使用している NVMe (non-volatile memory express) により設定されているシステム上で Windows 7 のスクリプト形式のインストールを実行しているとき、次のエラーが発生します。

Microsoft

Windows needs the driver for device [Standard NVM Express Controller]

この問題はKACE SDAアプライアンスとは関係がないため、サポートが提供されていません。

対策：次の回避方法は、そのままの状態ですべてサポートなしで使用できます。詳細については、次の KB 記事をお読みください。

<https://support.quest.com/ja-jp/kace-systems-deployment-appliance/kb/185551>

複数のvCPU (仮想中央処理装置) を搭載するVMware仮想マシンで、レガシーiPXE にPXEブートを実行できない。

K2-6769

K-Image展開を実行すると、マルチバイトフォルダに文字化けが生じます。

K2-6729

アップグレード後にデータベースからカラムその他の変更が失われ、問題が生じます。

K2-6714

バージョン4.xでは、システムイメージを複製する時間が大幅に長くなっています。


K2-6706

ラベルからRSAがアップグレードされた場合に、ハイパーリンク参照テキストが表示されません。

K2-6702

システムイメージを参照または編集した後、起動可能なUSBフラッシュドライブイメージの作成 リンクが表示されたままになります。

K2-6695

既知の問題	問題 ID
エラーで失敗したアップグレードが続行し、成功した場合と同じようにバージョンを変更します。	K2-6673
/kbox/tmpディレクトリ内に、自分自身を参照するシンボリックリンクがあります。	K2-6672
4.0 または 4.1 へのアップグレード後に、Windows K-Image または WIM のイメージキャプチャおよび展開が失敗しました。 対策：サポートについては、Quest Support へお問い合わせください。	K2-6670
アップグレード後に、ドライバフィールドの青い矢印アイコンが間違っただけに表示されます。	K2-6664
タイムゾーンを変更した後、進行状況画面は表示されますが、日付/時刻 ページが適切に表示されません。	K2-6582
WIMイメージのキャプチャ中、WIMイメージ用のファイルリストを作成している段階、またはWIMイメージをキャプチャしている段階の間、プログレスインジケータが動きません。	K2-6573
新しいLDAPサーバの作成中、テスト ボタンが適切に機能しません。	K2-6566
一部のモデルは、デバイスの初期化段階の間にフリーズし、UEFI PXE起動時にKBEメニューに到達できません。  注: これは、製造元のBIOSバージョンに関する既知の問題です。BIOSバージョンをアップグレードまたはダウングレードすると問題が解決する場合があります。	K2-6552
タスクが既に存在している左側にリストからタスクをドラッグすると、最後のタスクではなく、最初のタスクが割り当てられます。	K2-6540
RSAでオフボードストレージを使用しているとき、MacクライアントマシンがRSAからNetBootで起動できません。	K2-6502
ネットワークアダプタ設定NICが E1000E に設定された状態でESXi 5.xに作成された仮想マシン (VM) では、KACE SDAでiPXE (UEFI用) を起動できません。 対策：VMネットワークアダプタ設定NICを E1000 に設定します。	K2-6496
ADK (Windowsアセスメントおよびデプロイメントキット) 10を使用して作成されたKBEであるWINPE10から展開するとき、Windows XPのスク립ト形式のインストールが失敗します。 対策：ADK 8.1を使用して作成されたKBE、WINPE5を使用するとWindows XPのスク립ト形式のインストールが正常に導入されます。	K2-6484
Mac OS X 10.11、ASR (Apple Software Restore) /Kイメージの導入時にNetBootログイン画面がクライアントマシン上に表示され、起動処理が設定されます。 対策：NetBoot環境でMac OS X 10.11用の前処理手順が完了するまで待機することをお勧めします。完了時にはログイン画面で画面の下部にパスワードボックスとKACE SDA IPが表示されます。また、導入の進行状況はKACE SDA管理コンソールで監視できます。	K2-6479

これらの処理が完了する前にログインが試行された場合は、KACE SDAイメージングユーティリティがドック上に表示されず、ユーザーがNetBoot環境へと再起動する必要があります。

Windows USMT (User State Migration Tool) 5またはUSMT 10を使用するWindows XPユーザープロファイルのスキャンが、KACE SDAサーバ上で間欠的に進行中のままになります。

対策：Windows XPのユーザープロファイルはWindows PEからスキャンできます。これはMicrosoftが推奨する対処方法です。詳細については、<https://social.technet.microsoft.com/Forums/en-US/83ddb84e-d919-4acc-91ca-78d4f1478df1/scanstateexe-from-usmt-50-from-windows-81-adk-fails-on-windows-xp-with-1-is-not-a-valid-win32>を参照してください。

自動ログインを有効にしてキャプチャした10.11.4 ASR (Apple Software Restore) イメージを展開する際に、ポストインストールタスクのステータスが、クライアントマシン上で実行に成功した後でも 進行中 と表示されます。

Notepad.exeでのファイルの編集またはレジストリの編集は、KACEブート環境 (KBE) の回復コンソールでWindows PE 10.0を使用しているときに正常に動作しません。

MAC イメージが正常に導入された後、進行ステータスが正常に更新されません。

3.7 SP2 アプライアンスで、ログイン情報およびパスワードとして konfig とコンソールで入力し、変更を行おうとすると、リンクアグリゲーションが有効な場合に、リンクアグリゲーション IP が正しくないというエラーが表示され、詳細が表示されます。

対策：リンクアグリゲーションが有効な状態であれば、「ネットワーク設定」ページにアクセスして、ホスト名とIPアドレスを入力します。

「アプライアンスのパフォーマンス」ページに、外部ストレージのディスク使用率が表示されません。

WindowsまたはMac®のブート環境をFreeBSD 10 ISOから作成した場合、一般設定 > デフォルトKACE SDAブート環境 ページにデフォルトでブート環境が設定されません。

キャプチャしたASRを展開する際、Macシエルスクリプトのポストインストールタスクが 進行中 のままになります。

KACE SDAからASRイメージがキャプチャされていない場合、インポートされたASRイメージの展開が失敗します。



注: アプライアンスは、アプライアンスからキャプチャされたASRイメージ用にImageStoreディレクトリを作成します。

対策：petempディレクトリにImageStoreフォルダを作成します。

10.9.2 Mac® デバイスを NetBoot イメージで起動した場合、アプライアンスのロケール設定が英語以外であると、指定したロケールがキーボードレイアウトに表示されません。

ユーザープロファイルのスキャンタスクが失敗したときに、タスクエラー ページからタスクの再試行を試みると、ステータスに成功と表示されます。しかし実際に

既知の問題

問題 ID

は、選択したユーザープロファイルはスキャンされておらず、アプライアンスにもアップロードされていません。

対策：タスクエラー ページからターゲットデバイスを再起動した後で、再び KBE からデバイスを起動し、展開を再開します。デバイスを再起動すると、USMTプロファイルデータ用の新しい作業ディレクトリが作成され、プロファイルが正常にキャプチャされるようになります。

x64 および x86 の日本語 Windows® OS の場合、Sysprep 済みの K-Image およびスクリプト形式のインストールの展開中、デバイス名が保持されません。

K2-3170

KACE SDAのライセンスが期限切れになったときに、KACE SDAデバイスインベントリに含まれていないMac®デバイスを起動すると、「ライセンスが限度を超えました」というエラーメッセージがターゲットデバイスに表示されません。ターゲットデバイスが、アプライアンスからの起動を何度も試行します。

K2-2815

Hyper-Vの既知の問題

既知の問題

問題 ID

Microsoft Hyper-V®でのアップグレードで適切なディスクパーティションがマウントされない場合があります。

K2-6561

同期が完了したとき、RSAステータスが自動的に更新されません。

K2-6558

ESMEA-2896

ダッシュボード ページの ネットワーク使用率 セクションに、Hyper-V® プラットフォームの情報が表示されません。

K2-5902

KACE SDAをHyper-Vプラットフォームで実行すると、「runtime went backwards」というエラーメッセージがHyper-Vコンソールに何度も表示されます。

K2-5843

対策：KACE SDAでの修正は必要ありません。このメッセージを無視して、展開を続行しても構いません。

マルチキャスト展開の既知の問題

既知の問題

問題 ID

ユニキャストの代わりにマルチキャストを介して、2 つまたは複数のパーティション WIM イメージを展開すると、最初のパーティションのみが展開されます。

K2-5393

対策：この問題で利用できる回避策があります。詳細については、次の KB 記事をお読みください。

<https://support.quest.com/ja-jp/kace-systems-deployment-appliance/kb/212975>

マルチキャストの展開を削除すると、プロセスが終了しません。したがって、新しいマルチキャストの展開を開始できません。

K2-4286

対策：展開のタイムアウト期間を調整します。デフォルトのマルチキャスト展開のタイムアウトは10分です。


エラー発生時にマルチキャスト展開が続行されません。

K2-4180

対策：マルチキャスト展開をエラー発生時に続行するように設定しないでください。

ESMEA-624

リモートサイトアプライアンスの既知の問題

既知の問題	問題 ID
オフボードストレージからオンボードストレージへの逆方向の移行中にRSAを再起動すると、RSAにアクセスできなくなります。	K2-3775 ESMEA-3168
 注: データロスを防ぐには、RSA データを別の場所またはデバイスにエクスポートします。逆方向の移行が完了するまで、RSA の電源を切ったり再起動したりしないでください。	
メディアをRSAにアップロードしようとする、メディアマネージャに次のエラーメッセージが表示されます。「無効な応答です。指定したホスト名を確認してください。」 対策: ホスト名またはIPアドレスがKACE SDA (RSAではない) のホスト名またはIPアドレスであることを確認してください。	K2-3290
リンク先アプライアンスを切り替えると、管理コンソールの右上隅にあるドロップダウンリストに、シングルサインオン (SSO) を使用してKACE SDAからログインしたすべてのアプライアンスではなく、リンク先アプライアンスのみが表示されず。	K2-3241

スクリプト形式のインストールの既知の問題

既知の問題	問題 ID
Windows 10 64ビットのスクリプト形式のインストールで、実際には存在するのに、ブート環境が利用できると表示されません。	K2-6371

メディアマネージャの既知の問題

既知の問題	問題 ID
メディアマネージャを南米スペイン語からダウンロードすると、KACE SDAで、MSI インストーラおよびショートカットアイコンのメディアマネージャの製品名がスペイン (スペイン語) で表示されます。	K2-5585

システム要件

バージョン 5.0 をインストールするために必要な最小バージョンは 4.1.1148 (4.1 SP1) です。アプライアンスが以前のバージョンを実行している場合は、このメジャーリリースをインストールする前に記載されているバージョンに更新し、アップデートファイルをインストールした後でアプライアンスを再起動する必要があります。アプライアンスのバージョン番号を確認するには、KACEシステム展開アプライアンスの管理コンソールにログインし、ウィンドウの左下にある KACE SDAについて をクリックします。

バージョン 5.0 にアップグレードまたはインストールする前に、お使いのシステムが最小要件を満たしていることを確認してください。これらの要件は、KACE SDAの技術仕様で確認できます。<https://support.quest.com/ja-jp/kace-systems-deployment-appliance/4.1.182/technical-documents> に移動します。

サポート終了に関するお知らせ

KACE製品では、OSベンダーによるサポートの提供が終了したOSバージョンについては、サポートを終了いたします。KACEは今後もできる限り期間を延長して、オペレーティングシステムの展開および管理サービスを提

供してまいります。しかしながら、サポートが終了したOSのライフサイクルについては、サポート対象 から 制限付きサポート に移行し、最終的に サポート終了 に移行するのが最適であると考えております。

- Windows XP、Windows Server 2003、およびWindows Vistaのサポートについては、バージョン5.0の KACE SDAより サポート終了 といたします。両製品は、2016年11月1日より、制限付きサポートに移行済みです。
 - Microsoftは、Windows XP (2014年4月8日)、Windows Server 2003 (2015年7月14日) および Windows Vista (2017年11月4日) のサポートを終了しています。
- 旧バージョンのMac OSのサポートについては、バージョン5.0のKACE SDAより サポート終了 といたします。
 - Mac OS X 10.7、10.8、および10.9
 - Appleでは、サービス終了のお知らせについては、OSバージョンに対してではなく個別のMacモデルに対して行っています。
 - 通常、新モデルの発売後まもなく、OS開発が終了します。ただし、セキュリティ更新プログラムは例外で、以前のOSバージョンに対しても提供されます。
- OSベンダーおよびKACEの両方から最適なサポートを受けるため、お使いのデバイスを最新バージョンのOSにアップグレードすることを強くお勧めします。
- 弊社は、一部のお客様が現在も旧バージョンのMicrosoft製品を使用していることを認識しています。そのため、アプライアンス内でこれらの製品の使用を可能とする仕様にはしていますが、これらのバージョンに対する開発、テスト、またはサポートの提供は行っていません。

「制限付きサポート」と「サポート終了」の違いについて

制限付きサポート と サポート終了 の主な違いは以下のとおりです。

制限付きサポート：

- このリリースまたはバージョンに対してサポートが提供されます。弊社は既知の回避策またはバグ修正の提供に最善を尽くします。
- よほどのことがない限り、新しいコード修正は生成されず、必要な場合は弊社の判断により実行します。
- 機能強化の依頼は受け付けません。
- フル サポートが提供されるリリースまたはバージョンへのアップグレードを検討することをお勧めします。
- このリリースおよびバージョンは、サポートポータルからダウンロード可能です。

サポート終了：

- 廃止または終了されたリリースおよびバージョンが含まれます。
- このリリースに関する新しいパッチまたはバグ修正は作成されません。
- このリリースは、サポートポータルからダウンロードできません。
- サポート対象バージョンへのアップグレードのためのサポートが提供されます。
- このバージョンの製品の使用に関するサポートは提供されません。

ライフサイクルポリシー

各KACE製品のポリシーと製品ライフサイクルの詳細情報、および該当するサポート期間については、主要製品のサポートページのセクションまたはタブで参照できます。

<https://support.quest.com/kace-systems-deployment-appliance>

<https://support.quest.com/kace-systems-deployment-appliance/5.0#psPLCPanel>

製品ライセンス

現在KACE SDAの製品ライセンスをお持ちの場合、追加のライセンスは必要ありません。

初めてKACE SDAをお使いになる場合は、アプライアンスの『セットアップガイド』で製品ライセンスの詳細をご確認ください。「[その他のリソース](#)」に移動して、適切なガイドにアクセスします。



注: バージョン 5.0の製品ライセンスは、バージョン5.0以降のKACE SDAでのみ使用できます。バージョン5.0のライセンスは、KACE SDAの旧バージョン (4.1など) を実行するアプライアンスでは使用できません。

インストール手順

アプライアンスを更新するには、通知更新を使用するか、アップデートファイルを手動でアップロードします。

更新の準備

KACE SDAを更新する前に、次の要件を満たしていることを確認します。

- 現在のバージョン : KACE SDA 5.0をインストールするために必要な最小バージョンは4.1.1148 (4.1 SP1) です。アプライアンスのバージョン番号を確認するには、KACE SDAにログインし、ウィンドウの左下にある KACE SDAについて をクリックします。以前のバージョンのアプライアンスをお使いの場合は、5.0のインストールを行う前に、記載されているバージョンに更新する必要があります。
- ディスク領域 : KACE SDAでは20 %以上の空きディスク領域が必要になります。

その他の推奨事項 :

- 十分な時間の確保 : 150 MBを超えるようなサイズが大きいデータベースの場合、更新プロセスに数時間かかる可能性があります。
- 開始前のバックアップ : 次のサポート技術情報の記事で説明されている手順を使用して、アプライアンスのすべてのアイテムをエクスポートします。
 - [KACE SDAバックアップのベストプラクティス](#)
 - [KACE SDAアプライアンスをバックアップする方法](#)
- SSHの有効化 : KACE SDA管理コンソールの [セキュリティ設定](#) セクションで、SSHを有効にします。
- KACE SDAサーバの再起動 : アプライアンスのメンテナンス [設定ページ](#)で、更新する前にKACE SDAサーバを再起動します。

通知更新を使用したアプライアンスの更新

アプライアンスを更新するには、アプライアンスの [ダッシュボード ページ](#)または管理コンソールの [アプライアンスのメンテナンス ページ](#)で通知される更新プログラムを使用してください。

注意: 更新中は、アプライアンスを手動で再起動しないでください。

1. 次のサポート技術情報の記事で説明されている手順を使用して、KACE SDAのすべてのアイテムをエクスポートします。
 - [KACE SDAバックアップのベストプラクティス](#)
 - [KACE SDAアプライアンスをバックアップする方法](#)
2. 左側のナビゲーションバーで、設定 をクリックしてメニューを展開し、次に アプライアンスのメンテナンス をクリックして アプライアンスのメンテナンス ページを表示します。ページの下部までスクロールし、再起動 をクリックします。確認 ダイアログでは はい をクリックしてサーバを再起動します。
3. 左側のナビゲーションバーで、設定 をクリックしてメニューを展開し、次に アプライアンスのメンテナンス をクリックして「アプライアンスのメンテナンス」ページを表示します。
4. 更新の適用 をクリックしてアップグレードプロセスを開始します。

アプライアンスの更新に必要な時間はKACE SDAにあるコンテンツによって異なります。手動でアプライアンスをハードシャットダウンしないでください。また、アプライアンスはアップグレードプロセス実行中に、完了するまで自動的に (数回の可能性あり) 再起動します。
5. サーバ更新の確認 をクリックします。

アップグレードが完了すると、アプライアンスは自動的に再起動します。

手動によるアップデートファイルのアップロードと適用

Quest KACEでアップデートファイルが公開されている場合、ファイルを手動でアップロードして、アプライアンスを更新できます。

注意: 更新中は、アプライアンスを手動で再起動しないでください。

1. 次のサポート技術情報の記事で説明されている手順を使用して、KACE SDAのすべてのアイテムをエクスポートします。
 - [KACE SDAバックアップのベストプラクティス](#)
 - [KACE SDAアプライアンスをバックアップする方法](#)
2. ログイン資格情報を使用して、Quest Webサイト (<https://support.quest.com/ja-jp/kace-systems-deployment-appliance/4.1.182/download-new-releases>) にログインし、KACE SDAサーバ5.0の更新ファイルをダウンロードして、ローカルに保存します。
3. 管理コンソールにログインします。
4. 左側のナビゲーションバーで、設定 をクリックしてセクションを展開し、次に アプライアンスのメンテナンス をクリックして アプライアンスのメンテナンス ページを表示します。
5. KACE SDAの更新 > 手動更新 で、参照 をクリックして更新ファイルを選択し、開く をクリックします。
6. サーバの更新 をクリックします。

アプライアンスの更新に必要な時間はKACE SDAにあるコンテンツによって異なります。手動でアプライアンスをハードシャットダウンしないでください。また、アプライアンスはアップグレードプロセス実行中に、完了するまで自動的に (数回の可能性あり) 再起動します。

既存の32ビットRSAを64ビットに移行

バージョン 4.0 以降、RSA は 64 ビットの仮想アプライアンスになります。

これより前のバージョンでは、32ビットの仮想アプライアンスでした。32ビットのRSA上の既存のデータは、新しい64ビットのRSAに移行できます。詳細については、<https://support.quest.com/ja-jp/kace-systems-deployment-appliance/kb/211383> にアクセスしてください。

その他のリソース

次の場所から、その他の情報を利用できます。

- オンライン製品ドキュメント (<https://support.quest.com/ja-jp/technical-documents>)
 - 外部 I/O 接続リファレンス：<https://support.quest.com/ja-jp/kace-systems-deployment-appliance/4.1/technical-documents> に移動します。
 - 技術仕様：製品のインストールや、最新バージョンへのアップグレードに必要な最小要件に関する情報が記載されています。<https://support.quest.com/ja-jp/technical-documents/kace-systems-deployment-appliance/5.0/technical-specifications-for-virtual-appliances/> に移動します。
 - 管理者ガイド：アプライアンスのセットアップと使用の手順です。<https://support.quest.com/technical-documents/kace-systems-deployment-appliance/5.0/administrator-guide/> に移動して、最新リリースのマニュアルを参照します。

グローバル化

本項には、この製品を英語以外の構成でインストールして運用するための情報（北米以外のお客様が必要とする情報など）を記載しています。本項は、製品マニュアルの他の場所に記載されているサポート対象プラットフォームや設定に関する資料の代わりとなるものではありません。

このリリースでは、あらゆるシングルバイトまたはマルチバイト文字列をサポートします。このリリースでは、すべての製品コンポーネントを、同じまたは互換性のある文字エンコードを使用するように設定する必要があります。また同じロケールと地域オプションでインストールする必要があります。このリリースは、次の地域での運用をサポートすることを目的としています。北米、西ヨーロッパ、ラテンアメリカ、中央および東ヨーロッパ、極東アジア、日本。

このリリースは、次の言語のローカライズ版が用意されています：フランス語、ドイツ語、日本語、ポルトガル語（ブラジル）、スペイン語。

当社について

名前を超える存在

当社は情報技術をより促進するための探求をしています。IT管理の時間を短縮し、ビジネス革新に時間を費やせるようにするために、コミュニティ主導のソフトウェアソリューションを構築しています。データセンターのモダナイゼーション、クラウドへの素早いアクセス、データ駆動型ビジネスを成長させるために必要な専門知識、セキュリティ、およびアクセシビリティの提供をサポートします。革新の一部となるグローバルコミュニティへのQuestの促進と、顧客満足度を確実にするための当社のコミットメントを組み合わせることで、当社のお客様に真のインパクトを与え、誇りとなるレガシーを残すソリューションを提供し続けます。当社は新しいソフトウェア企業に変化していくことで現状に挑戦しています。お客様のパートナーとして、情報技術が、お客様のために、そしてお客様により設計されるよう、継続して取り組み続けます。それこそが当社のミッションであり、一体となりこのミッションに取り組んでいます。新しいQuestにようこそ。当社とともに革新を促進させましょう。

当社のブランドとビジョンと、ともに

当社のロゴは、革新、コミュニティ、サポートという当社のストーリーを反映しています。このストーリーの重要な部分は、「Q」で始まります。これは技術的な精度と強度へのコミットを表している完全な円です。Qの空間は、コミュニティと新しいQuestに欠けている部分、つまりお客様に参加していただく当社の必要性を象徴しています。

Questへのお問い合わせ

営業窓口またはその他のお問い合わせについては、www.quest.com/contactを参照してください。

テクニカルサポートのリソース

サポートポータルは、問題を迅速に自身で解決するのに使用できるセルフヘルプツールを提供しており、毎日24時間アクセスできます。このサイトでは、以下の操作を実行できます。

- サービスリクエストの送信と管理
- サポート技術情報記事の表示
- 製品情報への登録
- ソフトウェアと技術文書のダウンロード
- 説明ビデオの再生
- コミュニティの討論への参加
- サポートエンジニアとのオンラインチャット
- 製品のサポートサービスの表示

法的情報

Copyright 2017 Quest Software Inc. ALL RIGHTS RESERVED.

This guide contains proprietary information protected by copyright. The software described in this guide is furnished under a software license or nondisclosure agreement. This software may be used or copied only in accordance with the terms of the applicable agreement. No part of this guide may be reproduced or transmitted in any form or by any means, electronic or mechanical, including photocopying and recording for any purpose other than the purchaser's personal use without the written permission of Quest Software Inc.

The information in this document is provided in connection with Quest Software products. No license, express or implied, by estoppel or otherwise, to any intellectual property right is granted by this document or in connection with the sale of Quest Software products. EXCEPT AS SET FORTH IN THE TERMS AND CONDITIONS AS SPECIFIED IN THE LICENSE AGREEMENT FOR THIS PRODUCT, QUEST SOFTWARE ASSUMES NO LIABILITY WHATSOEVER AND DISCLAIMS ANY EXPRESS, IMPLIED OR STATUTORY WARRANTY RELATING TO ITS PRODUCTS INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTY OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, OR NON-INFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL QUEST SOFTWARE BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, CONSEQUENTIAL, PUNITIVE, SPECIAL OR INCIDENTAL DAMAGES (INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, DAMAGES FOR LOSS OF PROFITS, BUSINESS INTERRUPTION OR LOSS OF INFORMATION) ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THIS DOCUMENT, EVEN IF QUEST SOFTWARE HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES. Quest Software makes no representations or warranties with respect to the accuracy or completeness of the contents of this document and reserves the right to make changes

to specifications and product descriptions at any time without notice. Quest Software does not make any commitment to update the information contained in this document.

If you have any questions regarding your potential use of this material, contact:

Quest Software Inc.

Attn: LEGAL Dept




4 Polaris Way

Aliso Viejo, CA 92656

Trademarks

Quest, KACE, and the Quest logo are trademarks and registered trademarks of Quest Software Inc. in the U.S.A. and other countries. For a complete list of Quest Software trademarks, please visit our website at www.quest.com/legal. All other trademarks, servicemarks, registered trademarks, and registered servicemarks are the property of their respective owners.

凡例

-  **注意:** 注意アイコンは、指示に従わなかった場合に、ハードウェアの損傷やデータ損失につながる可能性があることを示します。
-  **警告:** 警告アイコンは、物的損害、人身傷害、または死亡事故につながるおそれがあることを示します。
-  **重要、注、ヒント、モバイル、またはビデオ:** 情報アイコンは、補足情報を表しています。

KACEシステム展開アプライアンスリリースノート

更新日 - 2017年9月

ソフトウェアバージョン - 5.0